

日本音楽集団

PRO MUSICA NIPPONIA

第145回定期演奏会
— 三味線特集 —

企画・構成 簗田司郎

1997年1月28日(火) 午後7時開演
津田ホール

主催 ●日本音楽集団
制作協力 ●奈良音楽事務所
助成 ●文化庁・日本芸術文化振興会
舞台芸術振興事業



Arts Plan 21



芸術文化振興基金

プログラム

三味線特集

司会 吉田由香里

NO.1 三味線オン・ステージ

(太棹) 田中悠美子
(津軽) 坂口美香
(三線) 野口美恵子
(中棹) 工藤哲子
(細棹) 箕田司郎

NO.2 玉桂 — 三味線合奏と打楽器による — 長沢勝俊作曲

(三味線Ⅰ) 野口美恵子
中山さち子
(三味線Ⅱ) 工藤哲子
山崎千鶴子
(小鼓) 望月太喜之丞

NO.3 長唄 二人椀久 錦屋總治作曲

(唄) (三味線)
野口美恵子
在原富士江
川辺孝子(助演)
箕田司郎
下山千鶴(助演)
圓井英子(助演)
尼崎 明(助演)
河合夏奈子(助演)
(笛) 西川浩平
(小鼓) 白杵美智代
(小鼓) 仙堂新太郎
(小鼓) 尾崎太一
(大鼓) 望月太喜之丞

— 休 憩 —

NO.4 〈四季〉ダンス・コンセルタントⅠ 三木 稔作曲

1. 踊る春 2. 水巡る 3. 秋、そして 4. 風の花～エピローグ

(笛) 西川浩平
(尺八Ⅰ) 米澤 浩
石田忠史
(尺八Ⅱ) 添川浩史
加藤秀和
(三味線) 野口美恵子
箕田司郎
田中悠美子
工藤哲子
坂口美香
在原富士江
山崎千鶴子
中山さち子
(琵琶) 田原順子
(箏Ⅰ) 山田明美
前川美保子
早川智子
(箏Ⅱ) 大泉一美
桐岡知代
嶋崎光代
(十七絃) 城ヶ崎美保
中垣雅葉
丸岡映美
(打楽器) 尾崎太一
望月太喜之丞
白杵美智代
(指揮) 田村拓男

三味線・オン・ステージ

近世邦楽を語るのに、とても重要な楽器―「三味線」(三弦)―この三味線の伝来については、中国から沖縄を経て、永禄年間(1558～69)に、大坂の堺港に入ったというのが通説になっています。中国や沖縄では指で弾いているようですが、当時の日本の琵琶法師によって、撥で演奏する形態ができあがったと考えられます。種類も様々ですが、太棹(義太夫節・津軽)・中棹(地歌・常磐津・清元)・細棹(長唄・小唄・端唄・河東節)の三種に大別されます。又、他にも三線(沖縄)や、短棹(民謡)などもあります。それぞれの楽器の音色を聞き分けてみて下さい。(箕田司郎)

玉 桂 ― 三味線合奏と打楽器による ―

この曲は1981年、杵屋静子さんの委嘱により、三味線独奏曲として作曲、初演されました。1995年、NHK千葉放送局の委嘱により、「玉桂―三味線と打楽器による―」ヴァージョンを作曲。同年12月1日「ちばNHKハイビジョンスペシャル'95」により放送されました。三味線による合奏の面白さと、打楽器(小鼓・締太鼓)の掛合いの中に、アンサンブルの可能性を追い求めた作品です。(長沢勝俊)

長唄 二人椀久

元禄の頃、大坂の豪商椀屋久兵衛が遊女松山に恋し、身代を費い果して住吉の浜を狂い歩いたという物語を長唄にしたものですが、筋を語るのではなく、狂った男が眩に見る、恋の情感と廓の景色を歌っています。それがなぜ二人なのか? それは能の井筒を下敷にしてあるからでしょう。井筒では、一代の恋男在原業平が男姿で女の面をつけて登場し、業平一人とも、恋の相手の女とも、二人合体の霊とも見えて、時を超え、虚空を超えて恋の情感を語り尽くします。その面影を写して二人と呼び、井筒の謡を椀久の曲の中心に置いてあります。前半は唄の優艶さで、後半は幻想の廓の情景を表わす三味線の即興演奏で十二分に聴き手を魅了します。立唄、立三味線二人のいづれも花の椀久なのでしょう。また、お囃子も聴きものではあります。(海津勝一郎)

<四季>ダンス・コンセルタントI

もうこの曲も23才になりました。僕が無償で作り、皆が手弁当で演奏し、多くのアマチュア合奏団に楽しんでもらおうと、今から振返っても、純粋なパッションに支えられて、よく続けていたものだと思います。もっとも、更に十年も同じ状態が続いたのですが、こうして定期でリフレッシュされ、予期せずテレビから流れてきたり、全日空の座席で聞けたり、もう何千回生演奏やCD音が人の耳に達したか想像もつきません。集団の仲間たちに心から感謝します。今回は、三味線の箕田式カデンツァが新しく作られるようで、楽しみにして当日を待っています。(三木 稔)

この曲は、かつて作曲を担当した舞踊シーンから、楽しく易しい旋律を選び、夏の合奏研究会でアマチュアの人たちにも演奏できるよう再編成された組曲です。四季を表現する各章は文字通り<踊る春>、<打情的なく水巡る>、<秋、そして> <獲り入れの踊りを経て、クールな<風の花> が<エピローグ>でしめくくられる構成になっています。なお、エピローグの中にカデンツァがあり、その時々で即興が加えられるようになっています。

〔司会 吉田由香里 プロフィール〕

神奈川県鎌倉市出身。'85年—サルサ・バンド「チカブーン」のメインボーカルとしてメンバーに加わり、キューバでライブコンサート。'93年—稚野鳥子(ちやとりこ)漫画作品のイメージアルバム「ちやとり図鑑」に参加(ミディ・レコードより)。'95年—ナムコのゲームソフト、「テイルズ・オブ・ファンタジア」のテーマ曲「夢は終わらない」でビクターエンタテインメントよりデビュー。現在ラジオ番組等で活躍中、三味線も特訓中。

〔二人椀久 助演〕

唄 東音下山千鶴・東音圓井英子・東音尼崎明・東音河合夏奈子
三味線 東音川辺孝子

日本音楽集団団員、研修生募集

研修生オーディション ▶ '97年3月19日(水)
団員入団オーディション ▶ '97年3月20日(木・祝)
応募締切り ▶ '97年3月6日(木)

募集要項—演奏会場または、日本音楽集団事務局まで

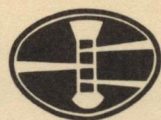
日本音楽集団 〒151 東京都渋谷区笹塚3-17-1 滝沢ビル302

電話 03-3378-4781 FAX 03-3376-2033

伝統に便利さを加えて

琴光堂の三味線

日本音楽集団推薦



琴光堂和楽器店

東京都目黒区碑文谷2-19-15 TEL(3792)8481 FAX(3792)8437